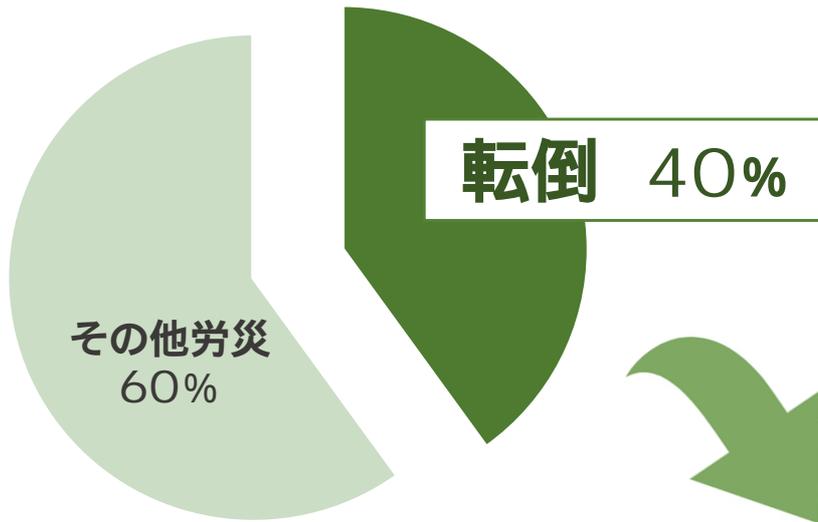


転倒ゼロに向けた意識改革を!!

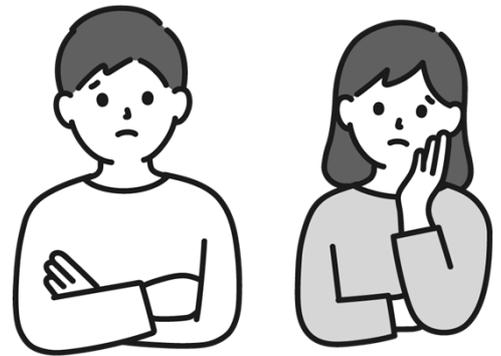
食品スーパー等 において、転倒災害が多発しています。
食品スーパー、ドラッグストア、ホームセンター等

令和5年労働災害発生状況



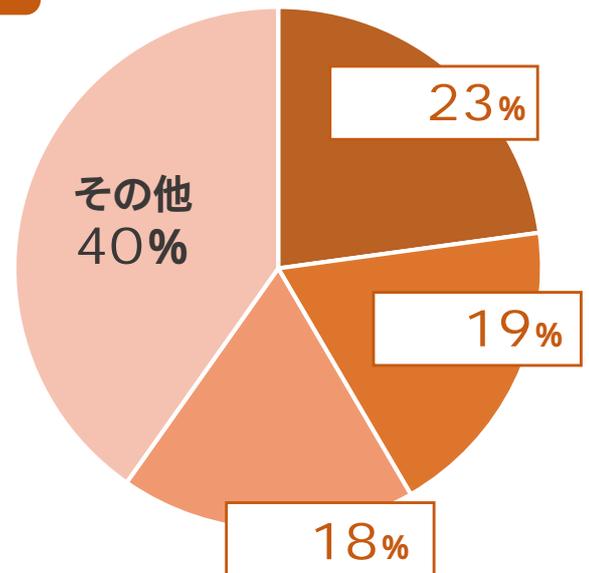
対象: 静岡県内
業種: その他の小売業(食品スーパー、ドラッグストア、ホームセンター等)
出典: 労働者死傷病報告

372件中149件が
転倒災害!



食品スーパー等における転倒災害TOP3

- ❗ **作業場・通路に置かれた物**(段ボール、台車、カート等)につまずいて転倒
- ❗ **通路等の凹凸や段差**につまずいて転倒
- ❗ **濡れた床**(フロア、食品加工場、雨で濡れた床等)ですべて転倒

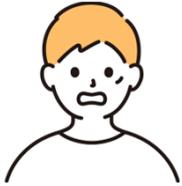


小売業SAFE協議会 参加企業にお勤めの方108人に災害が起こりやすいと思われる状況について ~ 含めた7択によるアンケートをとったところ、回答の多かった順に 37%、32%、11%でした。足元の濡れた場所が危険と考えた方が一番多いようです。働く職場には、~ 以外にも様々な転倒のリスクが潜んでいます。皆さんもぜひ、どのような場面で転倒のリスクがあるか考えてみましょう!

転倒災害の事例と3つの要因



商品整理中、**声を掛けられて慌てて振り返った際に、足元に置いてあった段ボール**に足を取られて転倒!



夜間に懐中電灯を使用せず、駐車場を歩いていたら、**車止めブロック**に足を引っかけて転倒!



調理場内を**早足で移動中**、**足元が水や油で濡れていたため**、滑って転倒!



油断、焦りなどの**心理的な要因**を無くすためには、普段から慌てずに周りを見る習慣をつけておくことが重要です。日常的な転倒のリスクを減らすことができます。

物理的な要因は従業員自らが気づいて、取り除ける要因もあります。従業員同士で話し合っ、気づいた人が改善するような決まり事を作っておくことが効果的です。

近年、加齢による身体機能の低下を原因として、何も無いところで転倒する災害も増えています。そのような**身体的な要因**による転倒のリスクを減らすためには、日常的な運動が効果的です。

職場3分
エクササイズ



静岡県HP
県民体操



ほんの少しだけ、**落ち着いて行動していたら**、**足元の障害物を片付けていたら**、**運動量を増やしていたら**、防げた転倒災害も少なくありません。

働く一人一人が、協力して意識改革に取り組み、**職場の転倒ゼロを目指しましょう!**



静岡県小売業SAFE協議会



中部安全衛生サービスセンター (制作協力)